

令和6年度 大阪市立北区北老人福祉センター 事業実績報告書

施設概要

施 設 名	大阪市立北区北老人福祉センター 愛称：キタロー
所 在 地	大阪市北区同心1-5-27
施 設 規 模	鉄筋コンクリート造4階建のうち1階及び4階の一部 延床面積 2,673.61 m ² のうち790.87 m ² (堀川地域集会所 84.02 m ² 含む)
主 な 施 設	大広間、会議室、講習室など
市が設定した数値目標	センター利用者向けに実施する満足度調査で、「満足・やや満足と回答される方」の割合を85.6%以上とする。(市内26館における過去3年間の平均) 令和2年度から4年度の平均年間利用人数：11,652人 令和2年度から4年度の平均年間登録人数：323人
令 和 6 年 度 満 足 度	81.3% (130/160) ※母数を明記すること。
令 和 6 年 度 利 用 人 数	18,645人
令 和 6 年 度 登 録 人 数	381人

指定管理者

団 体 名	社会福祉法人大阪市北区社会福祉協議会
事 務 所 の 所 在 地	大阪市北区神山町15-11
代 表 者	会長 小玉 始
指 定 期 間	令和6年4月1日から令和11年3月31日
報 告 対 象 期 間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
担 当 者	北区北老人福祉センター 館長 渋谷 義徳
連 絡 先	(06) 6352-7025

1 指定管理業務の実施状況

(1)施設の運営方針

ア) 地域福祉の拠点として、高齢者の孤立防止の取り組みを図る

- ①年間を通じて、囲碁広場・健康麻雀広場などオープン事業を実施した。
- ②職員が相談窓口となり、「百歳体操」やサークル見学を紹介した。
- ③「わなげ大会」や「eスポーツ体験会」など、参加しやすいイベントを開催した。
- ④館長・職員による清掃・点検で快適で安心できる環境を作った。

イ) 高齢者自らが地域福祉の担い手となるよう、人材を育成する

- ①センター独自のボランティア「キタロー会」のカフェ「キタロー茶屋」を再開した。
- ②ボランティアグループの「おもちゃ病院」や「キタスマ」の活動を支援した。
- ③サークル活動や同好会などの自主的な活動を支援した。

ウ) 介護予防や認知症予防の活動に取り組むとともに、普及・啓発に努める

- ①「百歳体操（生きがいと健康づくり事業）」を毎週火・金曜日に開催し、介護予防を試みた。
- ②認知症対策のセミナーや食育イベントなどを開催した。
- ③認知症サポーター養成講座を開催した。

(2)施設の維持管理

ア) 点検・清掃

- ・「建築管理の手引き（福祉局作成）」に基づき、館長が定期的に点検した。
- ・職員が日常の清掃とチェックを徹底的に行つた。

イ) 定期的保守点検と法定点検

- ・電気設備巡回点検（年 12 回）
- ・自家用電気工作物法令点検（年 1 回）
- ・非常用発電機 C 点検等（年 1 回）
- ・消防用設備等点検の実施（年 2 回）
- ・自動ドア保守点検（年 4 回）
- ・エレベーター保守点検（年 18 回） 内、法令点検 1 回/年
- ・受水槽及び高架水槽の清掃・水質検査（年 1 回）・簡易専用水道定期検査（年 1 回）
- ・特殊建築物等定期点検（1 回/3 年）
- ・空調設備フロン漏洩検査（1 回/3 年）

ウ) その他修繕等

- ・敷地内排水管詰り修繕工事
- ・敷地内水銀灯 LED 化工事

(3)職員の配置状況

施設長 1 名・嘱託職員 3 名

(4)危機管理・安全管理（事故防止等安全対策、災害等緊急時の対応への準備）

ア) 感染症拡大防止対策ほか

- ①新型コロナ終息以降もインフルなどの猛威を鑑み、職員は常時マスクを着用した。
- ②消防・災害避難訓練を実施した（9/20・2/12）。
- ③「大阪市行政オンラインシステム」を利用した伝達訓練を実施した。
- ④利用者台帳、サークル名簿や連絡網の施錠保管の徹底や、PC のパスワード変更による個人情報保護を徹底した。
- ⑤入居団体会議の定期開催（年 6 回）において、災害や防犯上の情報を共有した。

2 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用 人数	1,561	1,510	1,584	1,597	1,282	1,635	1,777	1,815	1,228	1,484	1,552	1,620	18,645
登録 者数	266	24	16	12	11	7	6	14	4	13	5	3	381

年度別利用者数推移

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
男性	利用者数	3,257	3,611	5,279	4,809	4,682
	男性割合	39.6%	37.8%	31.0%	27.0%	25.1%
女性	利用者数	4,967	5,936	11,743	13,018	13,963
	女性割合	60.4%	62.2%	69.0%	73.0%	74.9%
合計利用者数		8,244	9,547	17,022	17,827	18,645

年度別利用者年代比率

年 代	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
60～69 歳	7.6%	6.3%	6.0%	6.8%	6.8%
70～79 歳	48.0%	49.6%	54.4%	52.3%	51.5%
80 歳～	24.6%	29.1%	31.4%	32.1%	33.8%
その他	19.8%	14.9%	8.2%	8.8%	7.9%

3 実施事業

(1)事業報告

①事業計画 (P)

- 高齢者福祉の拠点づくり・孤立防止
 - 囲碁広場（毎日／年 1,200 人）
 - パンバー広場（毎日／年 2,500 人）

- ・健康麻雀広場（月2回／年304人）
- ・卓球広場（月2回／年230人）
- 2) 健康づくりと介護予防促進講座
 - ・ヤクルト健康セミナー（年4回／年80人）
 - ・森永健康セミナー（年2回／年40人）
 - ・大塚製薬熱中症予防セミナー（年1回／年20人）
- 3) 健康・体力作り
 - ・結核健診（年1回／年10人）
 - ・健康相談会（年1回／年30）
- 4) 生きがい探求・教養講座
 - ・外国語学習（年1回／年20人）
 - ・手話教室（年1回／年20人）
 - ・男の家事入門講座（年4回／年40人）
- 5) 生きがいづくり
 - ・歩こう会（年6回／年60人）
 - ・素人寄席（年4回／年160人）
 - ・うた広場（年6回／年180人）
- 6) 高齢者の自主的な活動支援（人材育成）
 - ・キタローアーク（月1回／年120人）
 - ・おもちゃ病院（月1回／年120人）
 - ・キタローカフェ（年4回／年80人）
 - ・認知症サポートー養成講座（年1回／年20人）
- 7) 地域・世代間交流
 - ・アウトリーチ（サークル集会所参加）（年2回／年20人）
- 8) 啓発活動・講座
 - ・終活セミナー（年1回／年20人）
 - ・消費者トラブル講座（年1回／年20人）
 - ・行政（警察・消防）協力（年48回／年480人）
- 9) その他
 - ・スマホ相談コーナー（年6回／年72人）

②活動内容（D）（今年度の取組内容）

- 1) 高齢者福祉の拠点づくり・孤立防止
 - ・囲碁広場（毎日／年475人）
 - ・バンパードーム（毎日／年468人）
 - ・健康麻雀広場（月2回／年247人）
 - ・卓球広場（月2回／年149人）
 - ・eスポーツ体験会（年1回／年14人）
- 2) 健康づくりと介護予防促進講座
 - ・ヤクルト健康セミナー（年4回／年54人）

- ・食と健康セミナー（年4回／年68人）
- 3) 健康・体力作り
 - ・結核健診（年1回／年7人）
 - ・早期発見セミナー（認知症・がん）（年2回／年37人）
- 4) 生きがい探求・教養講座
 - ・外国語学習（年1回／年24人）
 - ・手話教室（年1回／年8人）
 - ・男の家事入門講座（年2回／年8人）
- 5) 生きがいづくり
 - ・歩こう会（年6回／年65人）
 - ・素人寄席（年4回／年142人）
 - ・うた広場（年6回／年243人）
- 6) 高齢者の自主的な活動支援（人材育成）
 - ・キタロー会（年4回／年23人）
 - ・おもちゃ病院（月1回／年151人）
 - ・キタロー茶屋（年7回／年188人）
 - ・認知症サポートー養成講座（年1回／年3人）
- 7) 地域・世代間交流
 - ・アウトリーチ（サークル集会所参加）（年2回／年20人）
 - ・アウトリーチ（交通安全フェスティバル参加）（年1回／年42人）
 - ・アウトリーチ（保育園夏まつり参加）（年1回／年42人）
- 8) 啓発活動・講座
 - ・終活セミナー（年1回／年44人）
 - ・消費者トラブル講座（年1回／年19人）
 - ・行政（警察・消防）協力（年48回／年529人）
 - ・正しい施設の選び方（年1回／年20人）
 - ・生前整理の基礎知識（年1回／年30人）
 - ・もしものための認知症対策（年1回／年25人）
- 9) その他
 - ・スマホ相談コーナー（年6回／年84人）

③チェック (C) (成果、課題)

- 1) 高齢者福祉の拠点づくり・孤立防止
 - 〔成果〕 参加者数は計画を下回ったが、利用者間でバンバーのルールを教えあうなど、つながりが広がっている。
 - 〔課題〕 囲碁は高齢化もあり、昨夏の猛暑のような気候に参加が左右されやすい。
- 2) 健康づくりと介護予防促進講座
 - 〔成果〕 計画にはなかった「食と健康セミナー」を4回シリーズで開催し、日常の食事の大切さを理解してもらえた。
 - 〔課題〕 高齢者にはカロリー計算の話など、理解が追いつかない話題がある。

3) 健康・体力づくり

〔成果〕 看護師実習から地域医療機関と協力体制ができ、健康に関するセミナーを開催できた。

〔課題〕 器具を使った健康測定はできなかった。

4) 生きがい探求・教養講座

〔成果〕 外国語（英会話）学習は申込みが多く、高齢者の学習意欲を認識できた。

〔課題〕 男性限定の講座は、参加者が少なく、テーマ選びの難しさがはっきり出た。

5) 生きがいづくり

〔成果〕 日々の生きがいとなるレクリエーションを提供することができた。

〔課題〕 感染症の流行もあり、参加者数の制限を完全に解除できない。

6) 高齢者の自主的な活動支援（人材育成）

〔成果〕 「キタロー茶屋」の再開に伴い、ボランティアの申込みがあった。

〔課題〕 「キタロー会」が高齢化と猛暑で、参加者数が減った。

7) 地域・世代間交流

〔成果〕 地域組織との協力で、「アウトリーチ」を増やすことができた。

〔課題〕 アウトリーチに参加していたサークルが高齢化で減りつつある。

8) 啓発活動・講座

〔成果〕 終活関連のテーマは人気があり、どの講座も申込みが多かった。

〔課題〕 防犯関連はまだ聞き流している方が多いように思う。

9) その他

〔成果〕 スマホ相談の申し込みが常に満席になっている。

〔課題〕 相談者が固定している傾向がある。

④改善策（A） (次年度に向けた改善内容)

1) 高齢者福祉の拠点づくり・孤立防止

◇健康雀開放デーや卓球開放デーなどの回数が増やせないか検討したい。

2) 健康づくりと介護予防促進講座

◇講師との事前打ち合わせ時に、高齢者セミナーの特徴を伝えたい。

3) 健康・体力づくり

◇地域医療機関と協議し、体力測定等ができるようにしたい。

4) 生きがい探求・教養講座

◇男性利用者増加に関しては、体操やストレッチなどの運動系を導入したい。

5) 生きがいづくり

◇安全に配慮しながら、可能な範囲で人数制限を緩和していきたい。

6) 高齢者の自主的な活動支援（人材育成）

◇「キタロー会」の新規メンバーを募集していきたい。

7) 地域・世代間交流

◇「センターだより」で新規メンバーを募集するなど、サークルをバックアップしたい。

8) 啓発活動・講座

◇防犯に特化した講座で、興味を持つような内容の物を工夫したい。

9) その他

◇窓口等でスマホ相談の紹介をしていきたい。

(2)平等利用の確保

- ①「センターだより」だけではなく、LINE 公式アカウントを活用した。友だち登録も 200 人以上に増えており、非常に反応が良かった。
- ②身体に障がいのある方や、LGBTQ の方の利用に配慮した。
- ③人気の高いイベントは原則抽選とした。

(3) 利用者サービスの向上策

- ①「サークル世話人会（代表者会議）」を開催し、そこで出た意見や要望を反映した。
- ②全自动麻雀卓を導入し、サークルだけではなく、開放デーを設定した。
- ③給茶機を設置し、水分補給を無料で提供した。
- ④職員は人権やコンプライアンス関連の研修を受講し、自覚と知識を持って利用者に対応した。

(4) センターの利用促進策

- ①アンケートの意見を取り入れ、運営に反映した。
- ②新サークル「健康麻雀」「ウクレレ」「オカリナ」などの立ち上げを支援した。
- ③地域社協の協力により、地域のマンション管理組合に老人福祉センターの周知とセンター便りの掲示や回覧を行った。

(5) 利用者からの苦情・意見・満足度の把握

- ①年に 1 度の大規模アンケート実施し、満足度の調査や意見・要望、電子機器に対する意識などを事業に反映させた。令和 6 年度満足度 81.1% で対目標-4.5 ポイントだが、さらに満足度向上に向け努力したい。
- ②センター事業終了後のアンケート（主に新規イベント中心）や「ご意見箱」の設置など、利用者からの意見や要望を把握している。
- ③「サークル世話人会」における各代表の意見を事業に反映した。

4 地域との連携・人材育成

(1) 地域の関係団体・施設との連携

- ①北区社会福祉施設連絡会や北区リハビリテーション連絡会との連携や協働による事業を開催した。
- ②同一建物に入居する 4 団体による北区総合福祉センター入居団体会議を開催した。（年 6 回）
また、消防・防災訓練も実施した（年 2 回）。
- ③「趣味の作品展」「サークル発表会」で地域住民にセンターを開放し、事業内容の周知を図った。
- ④北区の看護専門学校実習生を受け入れた（2 校・計 4 回）。
- ⑤北区の大学から実習生を受け入れた（2 名）。
- ⑥サークル開始前に所轄警察・消防署からのミニ講話や交通安全イベントを実施した。

(2) 人材育成・ボランティア活動支援等

- ①スマホボランティアの養成、スマホ相談コーナー等、活動の場を提供した。
- ②キタロー会（センターボランティア活動）の定期会合の実施、歩こう会等のイベント参加に参加した
- ③おもちゃ病院の定期開催。
- ④センター職員による「認知症サポーター養成講座」の開催。

5 その他

(1) 職員研修の実施状況

日時	場所	人数	テーマ及び講師	研修方法	時間数
6月14日	北区在宅サービスセンター	1	「労務管理とハラスメント」 社会保険労務士 福西 綾美	講義 (ZOOM 視聴)	90分
6月18日		2			
6月19日		1			
8月23日	北区在宅サービスセンター	2	「子どもの権利について」 弁護士 梶井 規貴	講義 (ZOOM 視聴)	90分
8月29日		2			
10月22日	北区在宅サービスセンター	4	「福祉現場におけるカスタマーハラスメントへの対応」 弁護士 平田 佳之	講義 (ZOOM 視聴)	90分
12月4日	北区在宅サービスセンター	1	「合理的配慮の提供について」 大阪市福祉局 障がい者施策部 障がい福祉課	講義 (ZOOM 視聴)	90分
12月5日		1			
12月6日		1			
12月11日		1			

(2) 個人情報の保護・情報公開について

◇職員は下記規定に則って行動

- ・大阪市北区社会福祉協議会「個人情報保護規程」・「個人情報取扱運用細則」
- ・大阪市北区社会福祉協議会「個人情報保護に関する方針（プライバシーポリシー）」
- ・大阪市北区社会福祉協議会「コンピューターシステムの運用管理に関する規程」

◇PC パスワードの定期的な変更。FAX 送信時の個人情報の削除。

◇職員が知り得た個人情報の取扱いは、最新の注意を払うよう指導。

(3) 職員の労働条件の確保・環境への配慮

◇過重労働（残業含む）の徹底的な排除。

◇休日の確実な取得。

◇定期的な健康診断の受診。

◇定期的な館長と職員の面談による意思疎通。

◇再生紙の使用を基本として両面コピーを心がけ、使用済み用紙の裏面利用に努めた。

◇職員一人一人が環境保全の意識を高め、省エネルギー対策及びリサイクルを促進した取り組みを実施。

6 収支決算状況

(単位 : 円)

収入(項目)	内訳	計画	決算
業務代行料	大阪市からの業務代行料	18,838,000	18,838,000
雑収入等	参加費収入等	500,000	117,252
収入合計(A)	—	19,338,000	18,955,252
支出(項目)	内訳	計画	決算
人件費	職員4名分	14,230,000	12,791,400
物件費	事業費、管理費	5,108,000	5,744,641
支出合計(B)	—	19,338,000	18,536,041
収支(A) - (B)			419,211

【計画と決算の差額の主な理由】

◇収入

- ・夏季猛暑による参加者の減少

◇支出

- ・法人として人件費等の事業経費の抑制
- ・節減による光熱水費の減少
- ・設備老朽化による修繕費の増加
- ・備品類老朽化及び災害対策のため、器具備品費の増加

【経費節減のために主に取り組んだこと】

- ・コピー・印刷は再生紙を利用するとともに、出来る限りカラー印刷を控えた。
- ・必ず複数業者による比較見積もりで、安価に購入できるように努めた。
- ・照明や事務機器の電源ON/OFF、空調の温度管理を小まめに行った。